



平成 28 年 5 月 9 日

各 位

会 社 名 タ カ ノ 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 鷹 野 準  
(コード番号：7885 東証第一部)  
問 合 せ 先 責 任 者 常 務 取 締 役 大 原 明 夫  
(TEL 0265-85-3150)

## 中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社グループは、このたび、従前の中期経営計画「Grow up 63」（平成 26 年 3 月期～平成 28 年 3 月期）に引き続く、次期中期経営計画「Innovation 68」（平成 29 年 3 月期～平成 33 年 3 月期）を策定いたしましたので、その概要を下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 中期経営計画の策定等に関する考え方

従前の中期経営計画「Grow up 63」（平成 26 年 3 月期～平成 28 年 3 月期）では、目標とする売上高および利益は概ね計画に従った推移となったものの、全社的施策に対する定性的な達成度合いは不十分な面も残されております。

このような前回中期経営計画の反省と足元および今後の経営環境の変化を踏まえ、次期中期経営計画「Innovation 68」においては、新たな価値の創造と当社グループの次の成長基盤の構築を果たすべく、取り組み施策の重点化と具体化を行い、新たに設定する目標の達成を目指すものであります。

なお、次期中期経営計画「Innovation 68」においては、中期の目標、施策を定めるとともに、会社の基本となる考え方も合わせて定めることにより、計画の推進力向上と倫理観をもった企業行動につなげてまいります。

#### 2. 中期経営計画の基本方針

以下の中長期の基本的な考え方、基本的な方針、考え方の切り口を定め、当社グループ一丸となり、計画の達成を目指してまいります。

##### (1) 長期経営方針

「百年企業となる」 ～常に革新・進化し続ける～

##### (2) 目指す企業像

「常に高い志を持ち、社会のルールを守り、持続的成長・発展を通じ、豊かな社会の実現に貢献する。」

##### (3) 中期経営計画スローガン

「Innovation 68」 ～新しい価値を創造する～

(4) 中期経営計画基本方針

「構造改革とプロセス改革を進め、稼ぐ力を取り戻し、次の成長路線を構築する」

(5) 中期経営計画キーワード

「3C+S」

- ・ Change
- ・ Chance                    +Speed    (Quick Response)
- ・ Challenge

3. 中期経営目標（連結ベース）

単位：百万円

連結業績等	平成 28 年 3 月期 実績	平成 33 年 3 月期 目標
売上高	21,381	30,000
営業利益	979	3,000
（営業利益率）	4.6%	10.0%
経常利益	1,011	3,100
（経常利益率）	4.7%	10.3%

4. 全社的重点施策の概要

(1) 連結経営体制の強化を図る。

- ・ 全社グループベースで子会社とのシナジーの追求
- ・ 子会社機能の明確化と役割・機能の再構築
- ・ 連結売上高営業利益率 10%を目指す

(2) 新分野・成長分野開拓の道筋をつける。

- ・ 医療機器関連分野での積極投資、事業化加速  
（診療空間・治療空間向け機器関連、医療関連機器向けパーツ等）
- ・ 海外事業の拡大による事業成長  
（産業機器（パーツ）、検査計測機器の海外展開等）
- ・ センサー関連事業の事業化  
（組込型圧力測定センサの拡大（医療・健康・スポーツ・ロボット等向け））
- ・ 半導体関連電子デバイス検査事業の拡大（OSAT<sup>※</sup>業界向け、WLP<sup>※</sup>検査、パワー半導体分野等）
- ・ AI（人工知能）を活用した検査装置の高度化

※OSAT (Outsource Assembly and Test) 半導体の後工程（アセンブリおよびテスト）受託業者

※WLP (Wafer Level Package) チップサイズの超小型半導体パッケージ

(3) 全体効率の視点で生産効率向上策と原価低減を徹底的に進め、競争力を高める。（毎年 10%以上の生産性向上）

- ・ 全社一丸で J I T（ジャスト・イン・タイム）思想に基づく、効率化施策を進める
- ・ 多品種・変量、小ロット生産に対応した混流・同期化生産の確立
- ・ ロボット、AI、IoT等の新技術を活用した合理化・最適生産の追求

- (4) グローバル化の推進を行う。(グローバルの視点で考え、行動する。)
  - ・産業機器分野での北米営業展開を推進（北米事業拠点の設置検討）
  - ・世界最適地調達の推進と国際競争力の向上
  - ・グローバルシナジーを求め、海外子会社の機能明確化と役割・機能の再構築
- (5) M&A・事業提携等を通じた成長の実現を図る。
  - ・新規分野・成長分野に向けてM&A投資を積極化  
（医療・画像・コア技術の育成等）
- (6) 不採算分野の方向付けと事業構造を変革させる。
  - ・新規分野・成長分野への事業展開と合わせて、既存不採算分野の見極めと体制見直しを行い、事業構造を変革する
- (7) 強固な財務基盤の維持と新規分野・成長分野への積極投資の両立。
  - ・研究開発、新規設備投資、M&A・提携等に積極的な投資
  - ・資産、運転資本の圧縮による資産効率の向上を通じた営業キャッシュフローの創出
  - ・長期、安定的な株主還元を基本方針としながら、業績の進捗に応じた積極的株主還元を実施
- (8) CSRの推進に向けて、人材・環境分野で重点的な活動を進める。
  - ・快適で働きやすい職場環境の整備活動を進める
  - ・全社をあげて、省エネルギー活動・減電施策を進める
  - ・次世代の人材育成と多様な人材活用を進める
- (9) コーポレート・ガバナンスの強化。
  - ・監査等委員会設置会社への移行を起点とし、当社グループに則した攻めのガバナンス体制の構築

以上

本資料は、発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績および施策は今後の経済状況、事業環境等、様々な要因の変化により、記載と異なるものとなる可能性がありますことをご承知ください。